【令和８年度版】

要　覧

「輝く大地ひろがる笑顔の大崎広域圏」

―圏域の将来像―



パレットふるしんホール　プラネタリウム



中央クリーンセンター（愛称：までりん）



組合本庁舎



ほなみ園

大崎地域広域行政事務組合

圏域の概要

当圏域は，宮城県の北西部に位置し，南は仙台都市圏，東は石巻広域圏，北は栗原市・登米市，西は山形県・秋田県にそれぞれ接しています。構成自治体は，大崎市，色麻町，加美町，涌谷町，美里町の１市４町で，圏域の総面積は 1,523.91ｋ㎡と広大で，県土の 20.9%を占めており，人口は 180,358 人（令和７年国勢調査値）で県全体の 8.1%を占めています。

●宮城県



●大崎広域圏



県北の要衝地域

当圏域は，ＪＲ東北新幹線・東北本線・陸羽東線・石巻線などの鉄道や，東北自動車道，国道４号・47 号・108 号・346 号・347 号・457 号などの幹線交通網が，縦横に通った交通アクセスに優れた地域となっているため，人や物の交流拠点として，都市基盤・情報機能・定住環境の整備等が進められており，県北の要衝地域となっています。

豊かな水が育んできた「大崎耕土」

地勢としては，西部の山岳地帯から荒雄岳を源とする江合川と，船形連峰を源とする鳴瀬川の二つの大きな川が流れており，その流域に広がる水田農業地帯は，「巧みな水管理」を柱とした水田農業が展開され，「大崎耕土」と称される豊じょうの大地を形成しています。

当圏域は「日本の食糧供給基地」として広大で肥沃な大崎耕土に育まれた良質米「ササニシキ」「ひとめぼれ」などを産出しており，平成２６年５月には新たなブランド米として「ささ結（むすび）」が商標登録されました。これらのブランド米を産出してきた大崎地域の農業や農業が育む文化，生物多様性，美しく機能的な農村景観が一体となった農業システムが，未来に残すべき「生きた遺産」として，平成２９年に国際連合食糧農業機関（ＦＡＯ）から世界農業遺産に認定されました。

また，栗駒国定公園や県立自然公園船形連峰などの優れた自然景観や鳴子温泉をはじめとする多くの温泉施設や歴史の道「奥の細道」などの文化財，太鼓や神楽などの文化遺産など，豊富な地域資源にも恵まれています。

目　　次

1	信頼される広域行政を目指して……	2～4
2	大崎地域広域行政事務組合　施設マップ……	5
3	大崎地域広域行政事務組合　施設一覧……	5～6
4	組合本庁舎……	7
5	消防と救急……	8
6	し尿処理施設……	9
7	ごみ処理施設……	10
8	最終処分施設……	11～12
9	斎場……	13
10	大崎広域ほなみ園（児童発達支援センター）……	14
11	大崎生涯学習センター（パレットふるしんホール）……	15
12	大崎地域広域行政事務組合の沿革……	16～19
13	資料編（人口，財政，環境衛生，消防・救急，生涯学習，歴代管理者等）	20～30

1　信頼される広域行政を目指して

■組合の共同処理する事務■

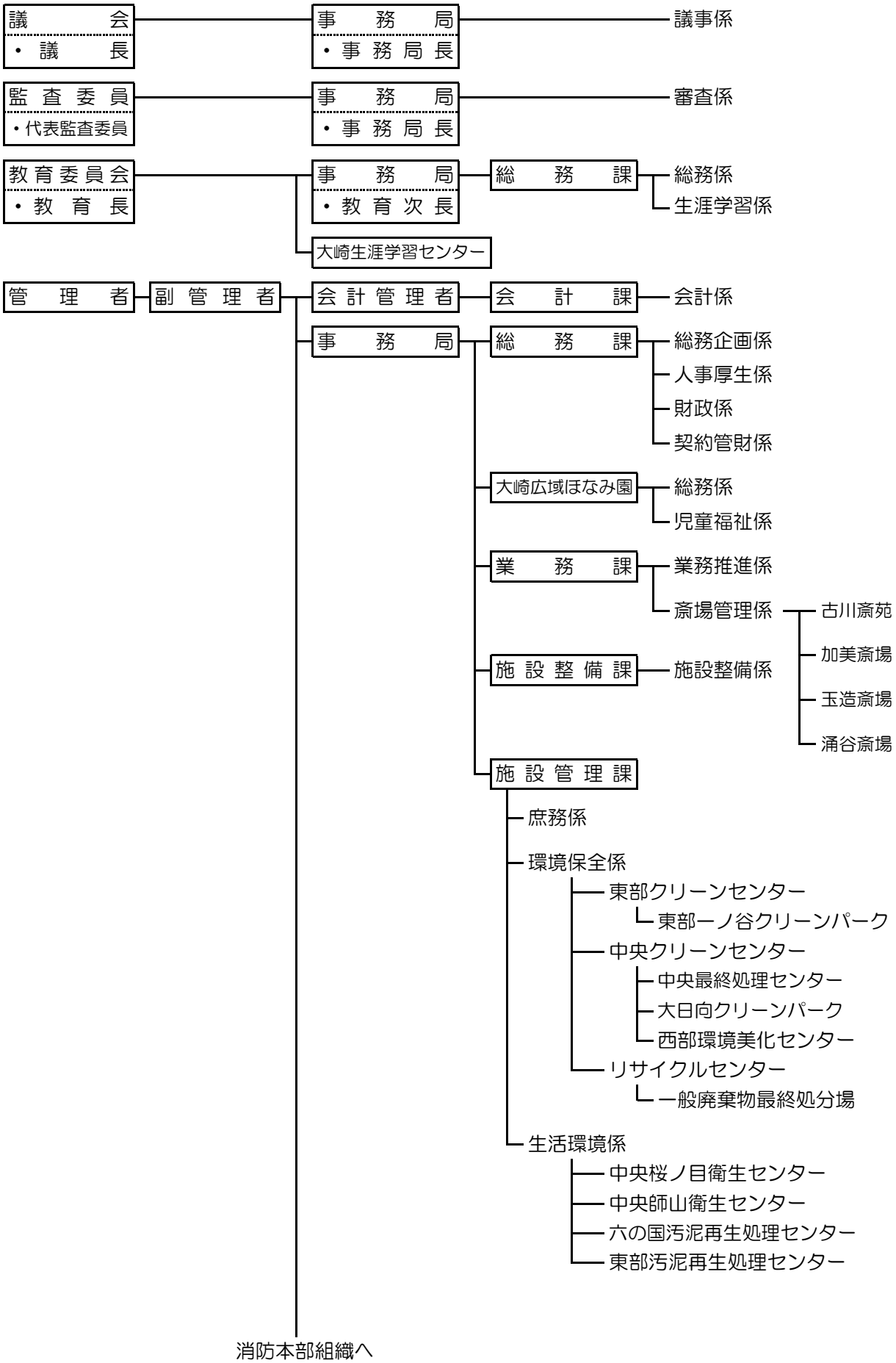
（1）　大崎地域広域市町村圏計画の策定及びこれに基づく事業の実施に関すること。
（2）　一般廃棄物の処理に関する事務のうち次に掲げるもの。
　　ア　一般廃棄物の収集運搬
　　イ　一般廃棄物処理施設の設置，管理及び運営
（3）　消防事務に関すること。（消防団に関する事務は除く）
（4）　液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律，火薬類取締法のうち，宮城県知事から権限移譲された事務に関すること。
（5）　大崎生涯学習センター（広域圏活性化プロジェクト中核施設）の設置，管理及び運営に関すること。
（6）　児童発達支援センター（大崎広域ほなみ園）の設置，管理及び運営に関すること。
（7）　地方拠点都市地域の整備及び産業業務施設の再配置の促進に関する法律に基づく基本計画の策定及び地域振興事業計画に掲げる事業の実施に関すること。
（8）　火葬場の設置，管理及び運営に関すること。

■議　会■

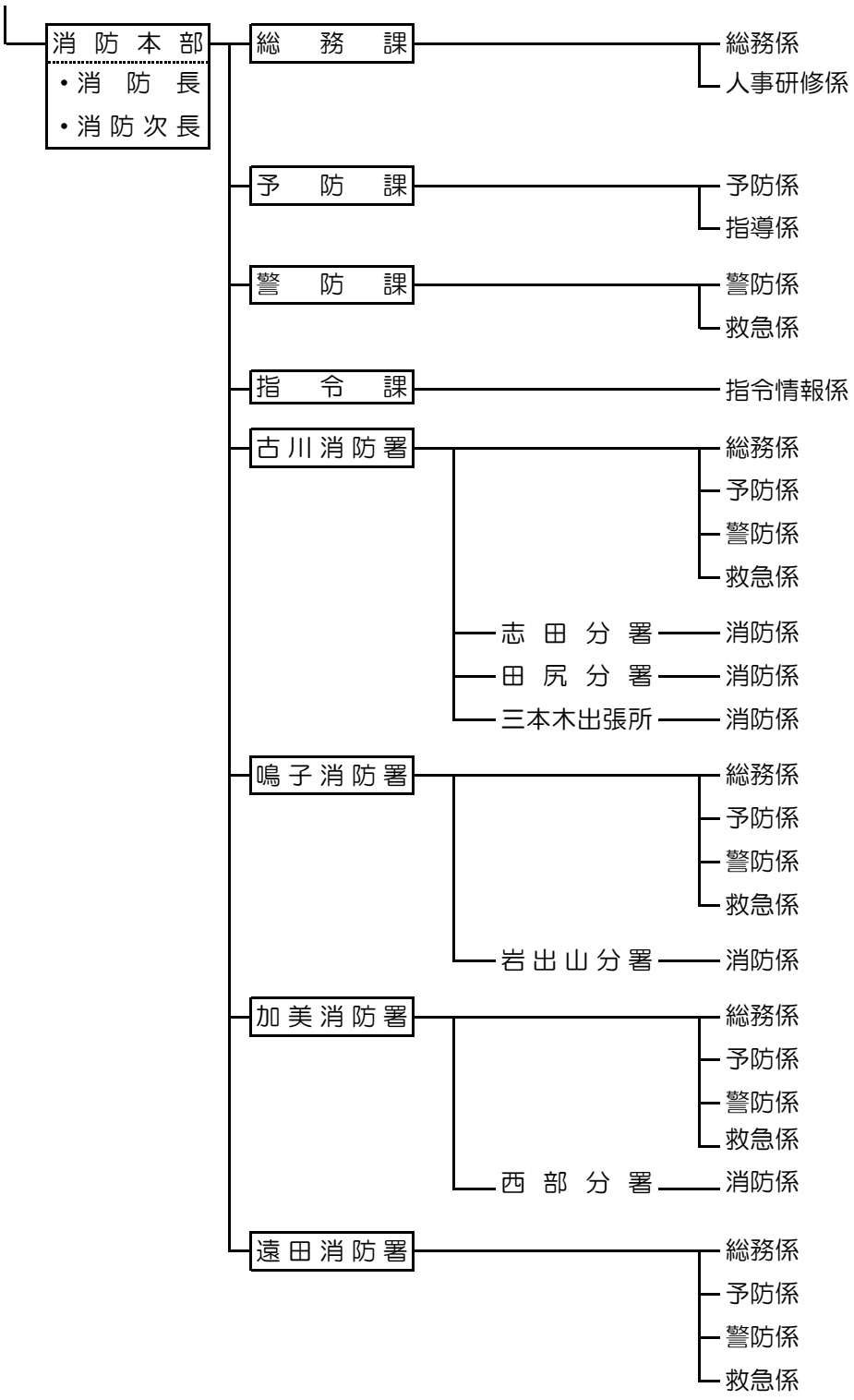
組合議会は，組合が行う共同処理事務について審議し，決定する議決機関です。

組合を構成する１市４町（大崎市，色麻町，加美町，涌谷町，美里町）の議会議長等の職から選出された１５人で構成されており，年２回（３月，１０月）の定例会と，必要に応じて開かれる臨時会があります。

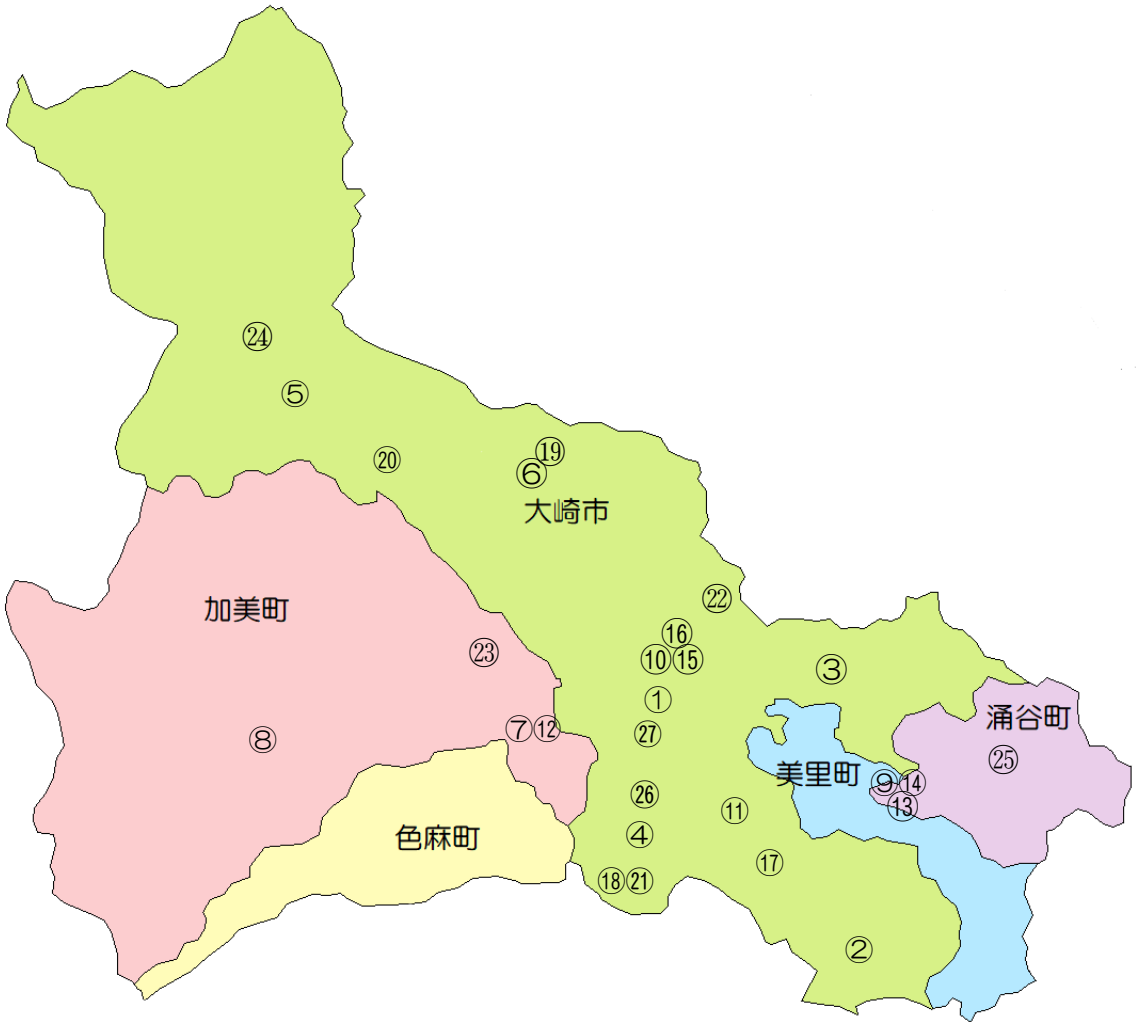
大崎地域広域行政事務組合事務局組織機構図



大崎地域広域行政事務組合消防本部組織機構図



２　大崎地域広域行政事務組合　施設マップ



３　大崎地域広域行政事務組合　施設一覧

地図	施　設　名	部　署　名	電話番号	所　　在　　地	掲載ページ
組合本庁舎・消防署					
①	組合本庁舎	議会事務局， 監査委員事務局	23−0971	大崎市古川千手寺町二丁目５番２０号	7
		事務局総務課	23−2325		
		会計課	22−2839		
		消防本部 総務課，予防課， 警防課，指令課	22−2351		
		古川消防署	22−2350		8
②	古川消防署　志田分署		56−2546	大崎市鹿島台木間塚字小谷地 269 番地１	8
③	古川消防署　田尻分署		39−0630	大崎市田尻沼部字新堀 137 番地２	8

地図	施　設　名	部　署　名	電話番号	所　　在　　地	掲載ページ
④	古川消防署　三本木出張所		52−2510	大崎市三本木字廻山６５番地	8
⑤	鳴子消防署		82−2349	大崎市鳴子温泉字馬場７０番地２	8
⑥	鳴子消防署　岩出山分署		72−1560	大崎市岩出山上野目字街道下 12 番地３	8
⑦	加美消防署		63−2003	加美町字新川原１０６番地	8
⑧	加美消防署　西部分署		67−2369	加美町字原町南百ヶ清水 30 番地７	8
⑨	遠田消防署		43−2351	涌谷町字関谷沖名３０３番地１	8
し尿処理施設					
⑩	大崎広域中央桜ノ目衛生センター		28−2448	大崎市古川桜ノ目字新高谷地３４７番地	9
⑪	大崎広域中央師山衛生センター		24−4736	大崎市古川師山字庚申５５番地１	9
⑫	大崎広域六の国汚泥再生処理センター		63−2163	加美町字新川原９２番地	9
⑬	大崎広域東部汚泥再生処理センター		43−2546	涌谷町字関谷沖名１９３番地１	9
ごみ処理施設					
⑭	大崎広域東部クリーンセンター		43−2597	涌谷町字関谷沖名２９１番地１	１０
⑮	大崎広域中央クリーンセンター		28−2386	大崎市古川桜ノ目字新高谷地３１７番地	１０
⑯	大崎広域リサイクルセンター管理棟	業務課	25−8867	大崎市古川桜ノ目字新高谷地３８８番地１	１０
		施設整備課	25−6788		
		施設管理課	28−1624		
	大崎広域リサイクルセンター		28−1756		
最終処分施設					
⑰	大崎広域東部一ノ谷クリーンパーク		55−3506	大崎市松山次橋字一ノ谷３９番地１	１１
⑱	大崎広域中央最終処理センター		52−3826	大崎市三本木蟻ヶ袋字大日向２７番地４	１１
⑲	大崎広域一般廃棄物最終処分場		72−3103	大崎市岩出山上野目字上冷ノ沢４番地３８	１１
⑳	大崎広域西部環境美化センター		78−2191	大崎市岩出山池月字鵙目舘山５５番地	１１
㉑	大崎広域大日向クリーンパーク		52−3826	大崎市三本木蟻ヶ袋字大日向２６番地１	１２
斎場					
㉒	大崎広域古川斎苑		25−9920	大崎市古川小野字新田裏２３番	１３
㉓	大崎広域加美斎場		63−5742	加美町下多田川字熊野３番地	１３
㉔	大崎広域玉造斎場		83−3779	大崎市鳴子温泉字末沢２８番地１	１３
㉕	大崎広域涌谷斎場		43−3977	涌谷町涌谷字雉子林２５番地４	１３
㉖	大崎広域ほなみ園（児童発達支援センター）		53−2050	大崎市三本木南谷地字要害３３６番地１	１４
㉗	大崎生涯学習センター（パレットふるしんホール）		91−8611	大崎市古川穂波三丁目４番２０号	１５

４　組　合　本　庁　舎　（地図番号①）

組合本庁舎は，平成２９年５月に建設工事を着工し，平成３１年３月に竣工，同年４月１日から供用を開始しました。

この庁舎は，震度７の大地震にも耐えうる基礎免震構造を採用するとともに，非常用発電設備や自家用給油取扱所などライフラインのバックアップ体制も充実しており，大崎圏域の防災拠点としての機能を有しています。



〇施設概要

敷地面積	11,984.68 ㎡
延床面積	庁舎棟：4,786.05 ㎡，車庫兼防災倉庫：492.80 ㎡，主訓練：227.82 ㎡， 副訓練棟：268.32 ㎡
庁舎棟の各フロアについて	
１階	エントランス，防災展示室，車庫
２階	車庫（吹き抜け），仮眠室
３階	古川消防署事務室，研修室
４階	消防本部（総務課・予防課・警防課・指令課）事務室，通信指令センター，災害対応室
５階	事務局（総務課・会計課）事務室，議会事務局・監査委員事務局事務室，多目的講堂，会議室
付帯施設	自家用給油取扱所，非常用発電設備，太陽光発電設備　など

５　消　防　と　救　急

大崎広域消防は，地域に密着した消防として，消火・救急・救助等の消防活動を行うとともに，火災等の災害による被害の軽減を図るため，住民と連携した住宅防火対策の推進，学校や事業所等での火災予防啓発活動を行い，圏域住民が安全で安心して暮らせる地域の構築に向け取り組んでおります。

また，近年における災害は予測困難な竜巻や集中豪雨，大型台風など多様化，大規模化しており，これらの災害に迅速かつ的確に対応するため，職員一丸となって，防災及び減災に努めてまいります。





〇消防署・分署・出張所



古川消防署
（地図番号①）



古川消防署　志田分署
（地図番号②）



古川消防署　田尻分署
（地図番号③）



古川消防署　三本木出張所
（地図番号④）



鳴子消防署
（地図番号⑤）



鳴子消防署　岩出山分署
（地図番号⑥）



加美消防署
（地図番号⑦）



加美消防署　西部分署
（地図番号⑧）



遠田消防署
（地図番号⑨）

６　し尿処理施設

大崎圏域は，宮城県北部地方の大崎平野に位置しており江合川，鳴瀬川，吉田川の恵みを受けた平坦肥沃な田園地帯です。これらの川と緑豊かな郷土の自然環境を守り，快適な生活環境を保全する健康で明るい活力あるまちづくりは，私たちの重要な行政課題です。そうした中で，日常生活に密着したし尿の衛生的な処理に支障のないよう適正な維持管理に務めています。



大崎広域中央桜ノ目衛生センター　（地図番号⑩）

敷地面積	10,234.00 ㎡
延床面積	4,785.92 ㎡
処理方式	高負荷脱窒素処理方式
処理能力	150 ㎘／日
竣　　工	平成４年３月



大崎広域中央師山衛生センター　（地図番号⑪）

敷地面積	4,954.00 ㎡
延床面積	1,891.41 ㎡
処理方式	標準脱窒素処理方式
処理能力	50 ㎘／日
竣　　工	平成 10 年１月



大崎広域六の国汚泥再生処理センター（地図番号⑫）

敷地面積	9,090.76 ㎡
延床面積	4,575.59 ㎡
処理方式	膜分離高負荷生物脱窒素処理方式
処理能力	105 ㎘／日
竣　　工	平成 15 年４月



大崎広域東部汚泥再生処理センター　（地図番号⑬）

敷地面積	17,599.77 ㎡
延床面積	4,830.40 ㎡
処理方式	標準脱窒素処理方式＋高度処理，汚泥助燃剤化処理
処理能力	139 ㎘／日
竣　　工	平成２３年９月

7　ごみ処理施設

ごみ処理は，これまでの単なる生活衛生上の観点ばかりでなく，地球温暖化防止等の地球環境にも配慮していく必要があります。公害防止に努め，ごみの減量化を図るためには，リデュース（発生抑制），リユース（再使用），リサイクル（再利用）といった「循環型社会」の構築が重要となります。



大崎広域東部クリーンセンター　（地図番号⑭）

敷地面積	23,417.26 ㎡
延床面積	4,007.64 ㎡
処理方式	全連続燃焼式焼却炉 （ストーカ式燃焼装置）
処理能力	144ｔ/日（72ｔ/日×2炉）
竣　　工	平成３年３月



大崎広域中央クリーンセンター　（地図番号⑮）

敷地面積	9,910.71 ㎡
延床面積	8,965.42 ㎡
処理方式	全連続燃焼式焼却炉 （ストーカ式燃焼装置）
処理能力	140ｔ/日（70ｔ/日×2炉）
竣　　工	令和４年３月



大崎広域リサイクルセンター　（地図番号⑯）

敷地面積	15,911.38 ㎡
延床面積	6,558.46 ㎡
処理能力	31.3ｔ/5ｈ/日
竣　　工	令和元年６月
備　　考	管理棟（写真右）と工場棟（写真左）で構成されており，管理棟には業務課，施設管理課，施設整備課が入所しています。

8　最　終　処　分　施　設

大崎圏域の肥沃な田園地帯の自然環境を守り，清潔で快適な生活環境を育みながら，廃棄物の適正処理を行う最終処分施設です。施設機能を十分発揮し，生活環境の保全と公衆衛生の向上に寄与できるよう管理運営に万全を期しています。



大崎広域東部一ノ谷クリーンパーク（地図番号⑰）

敷地面積	75,688.02 ㎡
埋立容積	53,500 ㎥（埋立面積 9,200 ㎡）
埋立対象物	焼却灰
埋立工法	セル方式（即日覆土方式）
埋立終了	平成２５年度
竣工	平成８年３月



大崎広域中央最終処理センター　（地図番号⑱）

敷地面積	121,190.00 ㎡
埋立容積	70,892 ㎥（埋立面積 15,148 ㎡）
埋立対象物	焼却灰
埋立工法	セル方式（即日覆土方式）
埋立終了	平成２６年度
竣工	平成８年3月



大崎広域一般廃棄物最終処分場　（地図番号⑲）

敷地面積	62,087.00 ㎡
埋立容積	74,821 ㎥（埋立面積 9,522 ㎡）
埋立対象物	破砕残渣
埋立工法	セル方式（即日覆土方式）
埋立終了予定	令和２７年度
竣工	平成９年３月



大崎広域西部環境美化センター　（地図番号⑳）

敷地面積	118,225.00 ㎡
埋立容積	54,200 ㎥（埋立面積 7,850 ㎡）
埋立対象物	焼却灰・不燃破砕物・脱水汚泥
埋立工法	サンドイッチ方式
埋立終了	平成２６年度
竣工	平成７年３月



大崎広域大日向クリーンパーク　（地図番号㉑）

敷 地 面 積	139,370.00 ㎡
埋 立 容 積	135,200 ㎥（埋立面積 20,000 ㎡）
埋立対象物	焼却残渣及び一部し尿残渣
埋 立 工 法	セル＆サンドイッチ方式
埋立終了予定	令和１２年度
竣　　工	平成２６年３月

９　斎　場



大崎広域古川斎苑　（地図番号㉒）

敷地面積	28,467.93 ㎡
建物面積	4,168.45 ㎡
炉　数	火葬炉６基、ペット用火葬炉１基
施設内容	告別・炉前ホール、収骨室、待合室、キッズルーム、給湯室、事務室、トイレ、車寄、駐車場
竣　工	令和８年４月



大崎広域加美斎場　（地図番号㉓）

敷地面積	12,414.14 ㎡
建物面積	1,066.03 ㎡
炉　数	火葬炉３基、ペット用火葬炉１基
施設内容	告別室、炉前室、ペット用炉前室、収骨室、待合室、待合ロビー、給湯室、事務室、トイレ、車寄、駐車場
竣　工	平成５年８月



大崎広域玉造斎場　（地図番号㉔）

敷地面積	2,978.43 ㎡
建物面積	397.90 ㎡
炉　数	火葬炉２基
施設内容	告別室、炉前室、収骨室、待合室、待合ロビー、給湯室、事務室、トイレ、車寄、駐車場
竣　工	平成７年１１月



大崎広域涌谷斎場　（地図番号㉕）

敷地面積	7,761.60 ㎡
建物面積	520.74 ㎡
炉　数	火葬炉２基
施設内容	告別室、炉前ホール、収骨室、待合ロビー、給湯室、事務室、待合室、トイレ、車寄、駐車場
竣　工	平成３年３月（待合室増築工事については令和５年１月）

10 大崎広域ほなみ園（児童発達支援センター）

（地図番号㉖）

【事業理念】

障がいのある子供とその家族がともに笑い，安心して日常生活が送れるよう支援します。

【支援方針】

（１）子供の障がいの状態及び発達の過程・特性等に十分配慮しながら，子供一人一人の成長を促す丁寧な療育に努めます。

（２）日々障がいのある子供を育てている保護者の思いを尊重し，保護者に寄り添いながら，保健師や関係機関と連携し，家族の負担の軽減を図るための支援を行います。

（３）障がいのある子供の地域社会への参加・包容を推進するために，関係機関と連携を取りながら，地域の子育て環境や支援体制の構築を図ります。









◇年間の主な行事

【親子で取り組む行事】
- 親子遠足
- ほなみ園まつり
- 親子クリスマス会
- 保護者研修会

【関係機関との研修会】
- 療育連絡会議
- 公開講座

【障害児通所支援事業】
- 児童発達支援
- 保育所等訪問支援

【相談支援事業】
- 障害児相談支援
- 特定相談支援

【地域支援】
- みんなの広場（月２回）
- 訪問相談

【交流事業】
- 古川支援学校との交流
- ひまわり園との交流

11　大崎生涯学習センター（パレットふるしんホール）

（地図番号㉗）

圏域住民の生涯学習活動の拠点として，また，新たなものを創り出す交流・発信の場，さらに憩い・ふれあいの場として，事業を推進しています。

平成２９年４月リニューアルしたプラネタリウム館では１億個の星々と全天周４Ｋデジタル映像が体感でき，「学習向け番組」，「一般向け番組」を投影しています。多目的ホールは，人形劇フェスティバルをはじめ，大崎地域における演劇，講演会，発表会など住民ニーズに対応した様々な活動やイベントに活用されています。また，みんなの部屋，天体ドーム，研修室，視聴覚施設を備え，生涯学習にふさわしい事業展開や活動ができる場と機会を提供しています。

ネーミングライツ事業により，令和８年４月から愛称を「パレットふるしんホール」としました。



□主な事業内容

プラネタリウム事業

１．プラネタリウム一般投影
　当夜の星座を中心に，惑星，太陽，月，星の動き等の生解説。また，季節毎のプラネタリウムテーマ番組や星空生解説番組を，土曜，日曜，祝日及び学校長期休業期間中に投影。

２．プラネタリウム学習投影
　教育要領や学習指導要領に基づき，幼児，児童，生徒向けの番組を投影，先生との打ち合わせによるプラネタリウム理科授業を実施。

３．星をみる会
　圏域住民の天文に対する興味，関心を高めるため，毎月１回屋上天文台で，天体の観望・解説を実施
　天体ドーム内３０㎝望遠鏡，屋上設置の１２㎝，８㎝望遠鏡を使用して星を観察。

視聴覚情報事業

１．パソコン講座
　簡単な文書やグラフの作成及びプレゼンテーションの活用について研修。

２．視聴覚機材・教材の貸し出し
　１６ミリ映写機，ビデオプロジェクターやＤＶＤ教材など視聴覚機材・教材の貸し出し。

生涯学習推進事業

１．小さなこどものまち
　子どもたちが主役となって，ひとつの「まち」をつくり，自分たちのお店を営業したり，客となって楽しむイベント。中高生や一般ボランティアが準備段階から携わり，出店をサポートしている。事前申込制にて実施。

２．人形劇フェスティバル
　プロ劇団による上演や地域で活動しているアマチュア劇団の人形劇や影絵劇発表を親子で鑑賞する機会を設け，子どもたちの想像力，感受性を養う場を提供。

12　大崎地域広域行政事務組合の沿革

昭和35年	5月 4日	古川市外12ヵ町村伝染病院組合設立(伝染病患者隔離収容事務)
39年	2月26日	圏域内14市町村により大崎地方開発連絡協議会設立(大崎地方市町村相互の連絡調整，大崎地方広域行政及び産業振興開発調査研究とその推進――昭和48年3月23日解散)
40年	1月 1日	遠田郡4町により遠田地区視聴覚教育協議会設立(視聴覚ライブラリー運営，視聴覚教育活動の普及指導に関する事業)
	4月 1日	大崎地区視聴覚教育協議会設立(古川市･加美郡･玉造郡･志田郡10市町村)
45年	4月 1日	大崎地区消防事務組合設立(圏域内14市町村)
46年	3月13日	古川市外12ヵ町村伝染病院組合に鳴子町加入により大崎地区伝染病院組合と名称変更
	7月21日	圏域内14市町村が自治省の広域市町村圏に設定され「大崎地域広域市町村圏」となる
	8月 2日	大崎地域広域行政事務組合設立(大崎広域市町村圏の振興整備に関する計画の策定及び事業実施の総合調整に関すること)
47年	3月31日	「大崎地域広域市町村圏計画」(基本構想・基本計画・実施計画)策定公表
48年	4月 1日	大崎地区伝染病院組合を大崎地域広域行政事務組合に統合
	4月 1日	大崎地区視聴覚教育協議会，遠田地区視聴覚教育協議会を大崎地域広域行政事務組合に統合し，教育委員会を設置，視聴覚教材センター開設
	4月 1日	大崎地区消防事務組合を大崎地域広域行政事務組合に統合し，次の消防機関を開設 消防本部，古川消防署，鳴子消防署，涌谷消防署，中新田消防署，鹿島台分署，岩出山分署，小牛田分署，田尻出張所，小野田出張所，荒谷派出所
	7月 1日	大崎地域広域行政事務組合粗大ごみ処理場操業開始
49年	3月20日	古川消防署三本木派出所，中新田消防署宮崎派出所開設
50年	3月20日	古川消防署松山派出所，涌谷消防署南郷派出所開設
	7月31日	大崎地区教材センターが文部大臣賞を受賞
51年	2月29日	中新田消防署色麻派出所開設
	3月31日	「大崎地域広域市町村圏計画」第二次基本計画(51年度～55年度)策定公表
	3月31日	広域市町村圏振興整備構想研究調査報告書」策定公表
	6月 1日	消防本部特別救助隊発足(隊員7名)
	12月 9日	東北自動車道(古川ＩＣ～大和ＩＣ間上り線)救急業務開始
52年	10月26日	全国視聴覚教材コンクールにおいて，鳴子町立中山小学校作品「穴堰」（スライド）文部大臣賞（学校教育部門）を受賞
	12月14日	東北自動車道(古川ＩＣ～築館ＩＣ間下り線)救急業務開始
53年	4月14日	大崎広域ほなみ園開園
54年	5月30日	大崎地域広域行政事務組合消防庁舎新築完成(消防本部・古川消防署同年7月17日移転，事務局は合同庁舎より同年7月23日移転，視聴覚教材センターは古川市中央公民館より昭和55年3月28日移転)
	7月20日	消防本部消防音楽隊発足(隊員27名)
	9月 6日	国土庁から大崎・栗原地方モデル定住圏の圏域に選定される
55年	3月31日	大崎・栗原地方モデル定住圏計画策定
	4月 1日	副管理者制を廃し，常勤の助役制を設置
56年	3月31日	「大崎地域新広域市町村圏計画」(基本構想・基本計画・実施計画)策定公表
	10月 7日	設立10周年記念式典
昭和57年	4月 1日	視聴覚教材センター専用施設整備完了(オーディオ室兼学習室・調整室・VTRスタジオ装置)

昭和58年	4月 1日	伝染病隔離病舎 30 床廃止，20 床にて運営開始
60年	6月 1日	消防 119 番集中管理運用開始
	8月12日	粗大ごみ最終処分場取得(62,087 ㎡)
	11月16日	中新田消防署庁舎増改築工事竣工
61年	2月17日	消防本部に鳴子ダム放流伝達用ファクシミリ装置設置
	4月 1日	職員定数条例改正(消防職員 252 人)
62年	3月30日	三本木・松山・宮崎・色麻・南郷の各派出所に無線起動装置を設置
63年	10月12日	全国視聴覚教材コンクールにおいて，鹿島台町主婦グループ作品「品井沼干拓」文部大臣賞(社会教育部門)を受賞
平成元年	7月 1日	自治省からふるさと市町村圏に選定される
	8月30日	消防本部通信指令室に救急医療情報検索装置設置
3年	3月10日	鳴子消防署庁舎新築工事竣工
	3月15日	鳴子消防署消防訓練塔(主塔・副塔)竣工
	3月31日	「大崎ふるさと市町村圏計画」(基本構想･基本計画･広域活動計画･実施計画) 策定公表
	8月 2日	設立 20 周年記念式典
4年	4月 1日	宮城県広域航空消防応援協定・宮城県広域消防相互応援協定締結
	9月22日	消防本部に宮城県総合防災システム端末機設備設置
5年	8月 1日	大崎広域リサイクルセンター稼働
	10月29日	消防本部に宮城県地域救急医療情報システム端末機設置
	11月22日	古川消防署救急隊に救急救命士を常置
	12月 8日	古川消防署に 35m 級梯子付消防ポンプ車配備
	12月10日	古川消防署車庫増築工事竣工
	12月22日	古川消防署に高規格救急車配備
6年	4月 1日	職員定数条例改正(消防職員 260 人)
	9月13日	宮城県知事から大崎地方拠点都市地域に指定される
7年	3月28日	大崎地方拠点都市地域基本計画の承認
	4月 1日	職員定数条例改正(消防職員 300 人)
	9月 5日	緊急消防援助隊編成に救助隊 1 隊，消火部隊 2 隊を登録
	11月 1日	中新田消防署救急隊に救急救命士を常置
8年	1月 8日	防災倉庫竣工(救急消毒室併設)
	3月22日	古川消防署の救助工作車(Ⅱ型)をⅢ型に更新
	3月31日	「大崎ふるさと市町村圏計画」改訂版策定
	4月 1日	財務会計電算システム運用開始
	8月10日	大崎ふるさと市町村圏計画を推進するため「大崎まちづくり協議会」を発足
9年	2月18日	中新田消防署に高規格救急車配備
	3月31日	大崎地方拠点都市地域建設省所管事業アクションプログラム策定
	4月 1日	大崎広域一般廃棄物最終処分場供用開始
	4月 1日	涌谷消防署救急隊に救急救命士を常置
10年	4月 1日	鳴子消防署救急隊に救急救命士を常置
	8月 8日	大崎生涯学習センター(パレットおおさき)開館(視聴覚教材センターを統合)

平成11年	2月15日	鳴子消防署岩出山分署に２B 型救急車配置
	3月26日	涌谷消防署に高規格救急車配置
	3月31日	伝染病院事務を廃止
	12月 8日	鳴子消防署に高規格救急車配備
	12月20日	小牛田分署に CD - １型ポンプ車配置
12年	9月26日	緊急消防隊助隊編成を救助隊１隊，消火部隊１隊に変更
	11月29日	鹿島台分署に CD - １型ポンプ車配置
13年	2月28日	小野田出張所　２B型救急車寄贈
	3月30日	古川消防署救急１・２高規格救急車配置
	4月 1日	「新大崎ふるさと市町村圏計画」策定，消防救急通信指令システム運用開始
	7月31日	鳴子消防署に 15m級梯子車配置
	8月 1日	小野田出張所に２B型救急車配置
	12月10日	中新田消防署に水槽付ポンプ車配置
14年	4月 1日	職員定数条例改正(消防職員３３８人)
	9月 1日	田尻出張所・三本木出張所　２B型救急車配置
	11月12日	三本木防災センターに併設した三本木出張所開所
	11月14日	涌谷消防署　水槽付ポンプ車配置
15年	3月20日	小牛田分署に高規格救急車寄贈配置
	4月 1日	小牛田分署救急隊に救急救命士常置　鹿島台分署救急隊に救急救命士常置 中新田町，小野田町，宮崎町３町が合併，加美町誕生。構成市町は１市１１町に 大崎地域広域行政事務組合情報公開制度がスタート
17年	3月31日	鳴子消防署に救助資機材を搭載した救助ポンプ車配置
	4月 1日	六の国環境衛生組合，大崎中央環境組合，大崎東部環境衛生事務組合と大崎地域広域行政事務組合が統合
		加美斎場，玉造斎場，古川斎場，松山斎場，涌谷斎場の運営管理開始
		組合単独の会計課を設置
18年	1月 1日	小牛田町と南郷町が合併，美里町誕生。構成市町は１市１０町に
	3月31日	古川市，松山町，三本木町，鹿島台町，岩出山町，鳴子町，田尻町の１市６町が合併，大崎市誕生。構成市町は１市４町に
	4月 1日	監査委員事務局開設
	11月 7日	助役にかわり，常勤の副管理者を置く
19年	1月29日	古川消防署　救急普及啓発車寄贈配置
	1月31日	鹿島台分署　小型動力ポンプ付水槽車配置
	3月31日	一般廃棄物処理基本計画及び汚泥再生処理センター整備に係る基本計画策定
	4月 1日	収入役から会計管理者に改める
20年	1月25日	中新田消防署に救助資機材を搭載した救助ポンプ車配置
	4月 1日	消防本部管理課，消防課，危機対策課，議会事務局，施設整備課開設
	5月31日	宮城県から大崎生涯学習センター無償譲渡
21年	1月27日	中新田消防署小野田出張所の救急車を高規格救急車へ更新
	2月17日	涌谷消防署に救助資機材を搭載した救助ポンプ車配置
22年	1月26日	古川消防署三本木出張所及び田尻出張所の救急車を高規格救急車へ更新

平成22年	4月 1日	知的障害児通園施設大崎広域ほなみ園が大崎市三本木へ移転
	7月 1日	涌谷消防署，小牛田分署，南郷派出所の３署所を統合し，遠田消防署開設
23年	4月26日	中新田消防署，色麻派出所を統合し，加美消防署開設
	10月 1日	東部汚泥再生処理センター供用開始
24年	3月31日	大崎広域市町村圏計画（第１次計画）策定
	4月 1日	福祉型児童発達支援センター「大崎広域ほなみ園」へ移行
	4月27日	古川消防署鹿島台分署，松山派出所を統合し，古川消防署志田分署開設
25年	2月14日	鳴子消防署岩出山分署新庁舎開設
	4月 1日	消防救急デジタル無線システム及び高機能消防指令システム運用開始
26年	2月21日	加美消防署小野田出張所，宮崎派出所を統合し，加美消防署西部分署開設 加美消防署西部分署開設に伴い水槽付消防ポンプ車新規配置
	3月30日	大崎広域大日向クリーンパーク竣工
	10月 1日	３事業所（西部・中央・東部）を統合し，施設管理課を新設
27年	2月17日	古川消防署田尻出張所を古川消防署田尻分署に格上げし，供用開始
		古川消防署田尻分署開設に伴い水槽付消防ポンプ車新規配置
	3月 9日	大崎広域市町村圏計画（第２次計画）策定
	12月11日	「みちのくの宝島」を組合の商標として特許庁へ登録
	12月28日	大崎地域広域行政事務組合の組合章及び組合旗制定
28年	2月26日	イメージキャラクター「大崎夢っ子」を組合の商標として特許庁へ登録
29年	3月30日	大崎広域市町村圏計画（第３次計画）策定
	4月29日	大崎生涯学習センタープラネタリウムリニューアルオープン
30年	4月 1日	大崎広域新ネットワークシステムの本格運用を開始
		大崎広域ほなみ園医療的ケア児受け入れ開始
31年	3月19日	消防本部に拠点機能形成車新規配置（総務省から無償貸与）
	4月 1日	大崎地域広域行政事務組合本庁舎供用開始（平成３１年３月竣工）
		消防本部管理課を総務課，消防課を警防課，危機対策課を防災課に改編
令和元年	7月 1日	大崎広域リサイクルセンター供用開始（令和元年６月竣工）
2年	3月19日	古川消防署の救助工作車を更新
	3月31日	大崎広域市町村圏計画（第４次計画）策定
	4月 1日	鳴子消防署に中型水陸両用車新規配置（総務省から無償貸与）
	4月30日	消防本部キャッチフレーズ「消防士は愛でできている」を制定
	6月 1日	鳴子消防署車庫開設（令和２年５月竣工）
3年	3月16日	古川消防署の 35m 級梯子車を更新
	8月 2日	設立 50 周年
4年	4月 1日	大崎広域中央クリーンセンター供用開始（令和４年３月竣工）
5年	10月29日	大崎広域中央クリーンセンターグランドオープン（令和５年１０月全体竣工）
6年	4月 1日	大埼広域ほなみ園が，児童福祉法の一部改正により福祉型児童発達支援センターから児童発達支援センターに名称を変更
7年	3月31日	大崎広域市町村圏計画（第５次計画）策定
8年	4月 1日	大崎広域古川斎苑供用開始（令和８年３月竣工）
		消防本部の組織改編により防災課を警防課に統合し，指令課を開設

１３　資料編

人口

（１）　人口と世帯数

【令和２年及び令和７年国勢調査値】
［単位：人，世帯］

区　分	令和２年		令和７年	
	人　口	世帯数	人　口	世帯数
大 崎 市	127,330	48,893	118,528	48,186
色 麻 町	6,698	1,965	5,982	1,956
加 美 町	21,943	7,641	19,891	7,583
涌 谷 町	15,388	5,452	13,811	5,354
美 里 町	23,994	8,565	22,146	8,510
合　計	195,353	72,516	180,358	71,589

【住民基本台帳及び世帯数】
［単位：人，世帯］

区　分	令和８年※	
	人　口	世帯数
大 崎 市	118,953	53,373
色 麻 町	5,923	2,100
加 美 町	20,235	8,280
涌 谷 町	13,766	5,993
美 里 町	22,245	9,434
合　計	181,122	79,180

※直近の令和８年については，宮城県「住民基本台帳及び世帯数（令和８年９月末）」を参照しております。

（２）　就業者数

【平成２７年及び令和２年国勢調査値】
［単位：人］

区　分	平成２７年				令和２年			
	第1次産業	第2次産業	第3次産業	合 計	第1次産業	第2次産業	第3次産業	合 計
大 崎 市	5,410	19,384	39,702	64,496	5,044	18,644	39,042	62,730
	8.4%	30.0%	61.6%		8.1%	29.7%	62.2%	
色 麻 町	735	1,312	1,777	3,824	658	1,167	1,656	3,481
	19.2%	34.3%	46.5%		18.9%	33.5%	47.6%	
加 美 町	1,754	4,191	6,028	11,973	1,683	4,149	6,064	11,896
	14.7%	35.0%	50.3%		14.1%	34.9%	51.0%	
涌 谷 町	1,121	2,570	4,464	8,155	1,084	2,392	4,207	7,683
	13.8%	31.5%	54.7%		14.1%	31.1%	54.8%	
美 里 町	1,384	3,258	7,528	12,170	1,159	3,050	7,130	11,339
	11.4%	26.8%	61.8%		10.2%	26.9%	62.9%	
合　計	10,404	30,715	59,499	100,618	9,628	29,402	58,099	97,129
	10.4%	30.5%	59.1%		9.9%	30.3%	59.8%	

財政

（１）　一般会計予算（当初）

［歳入］

［単位：千円］

区　分	令和８年度	令和７年度	比　較	
			増　減	増減率
分担金及び負担金	7,126,921	6,952,681	174,240	2.5
使用料及び手数料	363,812	368,442	△ 4,630	△ 1.3
国　庫　支　出　金	465,464	809,138	△ 343,674	△ 42.5
県　　支　　出　　金	40,029	21,441	18,588	86.7
財　　産　　収　　入	23,359	18,157	5,202	28.7
寄　　附　　金	1	1	0	0.0
繰　　入　　金	32,898	853,980	△ 821,082	△ 96.1
繰　　越　　金	10,000	10,000	0	0.0
諸　　収　　入	469,764	470,129	△ 365	△ 0.1
組　　合　　債	1,131,100	3,437,800	△ 2,306,700	△ 67.1
計	9,663,348	12,941,769	△ 3,278,421	△ 25.3

［歳出］

［単位：千円，％］

区　分	令和８年度	令和７年度	比　較	
			増　減	増減率
議　　会　　費	20,598	19,635	963	4.9
総　　務　　費	320,819	307,346	13,473	4.4
民　　生　　費	166,249	164,384	1,865	1.1
衛　　生　　費	5,466,135	8,725,759	△ 3,259,624	△ 37.4
消　　防　　費	3,028,155	3,076,433	△ 48,278	△ 1.6
教　　育　　費	147,620	160,290	△ 12,670	△ 7.9
公　　債　　費	502,272	476,422	25,850	5.4
予　　備　　費	11,500	11,500	0	0.0
計	9,663,348	12,941,769	△ 3,278,421	△ 25.3

※予算額は当初予算の金額を記載しています。

（２）　一般会計決算

［歳入］

［単位：千円，％］

区　分	令和７年度	令和６年度	比　較	
			増　減	増減率
分担金及び負担金	6,949,848	6,829,861	119,987	1.8
使用料及び手数料	373,811	383,162	△ 9,351	△ 2.4
国　庫　支　出　金	827,297	147,003	680,294	462.8
県　　支　　出　　金	17,558	20,201	△ 2,643	△ 13.1
財　　産　　収　　入	22,303	32,872	△ 10,569	△ 32.2
寄　　附　　金	150	170	△ 20	△ 11.8
繰　　入　　金	806,729	182,563	624,166	341.9
繰　　越　　金	113,085	360,918	△ 247,833	△ 68.7
諸　　収　　入	585,252	697,989	△ 112,737	△ 16.2
組　　合　　債	3,338,000	795,500	2,542,500	319.6
計	13,034,033	9,450,239	3,583,794	37.9

［歳出］

［単位：千円，％］

区　分	令和７年度	令和６年度	比　較	
			増　減	増減率
議　　会　　費	19,630	18,784	846	4.5
総　　務　　費	462,665	457,480	5,185	1.1
民　　生　　費	163,677	154,212	9,465	6.1
衛　　生　　費	8,538,116	4,856,917	3,681,199	75.8
消　　防　　費	2,895,474	3,006,856	△ 111,382	△ 3.7
教　　育　　費	161,076	207,038	△ 45,962	△ 22.2
公　　債　　費	466,378	535,866	△ 69,488	△ 13.0
計	12,707,016	9,237,153	3,469,863	37.6

環境衛生

（１）　燃やせるごみ処理状況（搬入量）

［単位：t・増減率：%］

区　分	令和７年度			令和６年度			増　減			増減率
	家庭系	事業系	合計	家庭系	事業系	合計	家庭系	事業系	合計	
大崎市	24,422	10,378	34,800	25,379	10,733	36,112	△ 957	△ 355	△ 1,312	△ 3.6
色麻町	1,279	343	1,622	1,367	303	1,670	△ 88	40	△ 48	△ 2.9
加美町	4,773	864	5,637	4,944	1,050	5,994	△ 171	△ 186	△ 357	△ 6.0
涌谷町	3,043	1,087	4,130	3,220	1,140	4,360	△ 177	△ 53	△ 230	△ 5.3
美里町	5,160	1,775	6,935	5,420	1,781	7,201	△ 260	△ 6	△ 266	△ 3.7
合　計	38,677	14,447	53,124	40,330	15,007	55,337	△ 1,653	△ 560	△ 2,213	△ 4.0

※家庭系には災害ごみ，事業系には農林業系廃棄物を含みます。

（２）　し尿処理状況（搬入量）

［単位：kl・増減率：%］

区　分	令和７年度			令和６年度			増　減			増減率
	し尿	浄化槽汚泥	合計	し尿	浄化槽汚泥	合計	し尿	浄化槽汚泥	合計	
大崎市	48,102	35,380	83,482	50,150	34,537	84,687	△ 2,048	843	△ 1,205	△ 1.4
色麻町	2,011	1,714	3,725	2,002	1,672	3,674	9	42	51	1.4
加美町	5,573	3,053	8,626	5,864	3,007	8,871	△ 291	46	△ 245	△ 2.8
涌谷町	5,585	2,826	8,411	5,692	2,933	8,625	△ 107	△ 107	△ 214	△ 2.5
美里町	5,222	6,750	11,972	5,472	6,879	12,351	△ 250	△ 129	△ 379	△ 3.1
合　計	66,493	49,723	116,216	69,180	49,028	118,208	△ 2,687	695	△ 1,992	△ 1.7

※浄化槽汚泥に農業集落排水・コミュニティプラントを含みます。

（３）　粗大ごみ処理状況（搬入量）

［単位：t・増減率：%］

区　分	令和７年度	令和６年度	増　減	増減率
大崎市	2,561	2,731	△ 170	△ 6.2
色麻町	132	154	△ 22	△ 14.3
加美町	513	532	△ 19	△ 3.6
涌谷町	286	294	△ 8	△ 2.7
美里町	438	480	△ 42	△ 8.8
合　計	3,930	4,191	△ 261	△ 6.2

※災害ごみを含みます。

（４）　令和７年度斎場使用許可証交付体数

［単位：体］

区　分	大人 (15歳以上)	小人 (15歳未満)	死産児	改葬	その他	合計
古川斎場	1,238	1	17	0	15	1,271
加美斎場	795	0	2	1	3	801
松山斎場	352	0	0	0	2	354
玉造斎場	113	0	0	0	0	113
涌谷斎場	509	1	2	1	2	515
合　計	3,007	2	21	2	22	3,054

※その他には，肢体の一部及び産汚物が含まれ，小動物は含まれない。

消防・救急

（１）　大崎圏域内災害発生状況

［令和7年1月1日～令和7年12月31日］
［単位：件］

年度／市町名	火災発生状況			救急出動状況		
	令和7年	令和6年	前年比	令和7年	令和6年	前年比
大崎市	31	27	4	6,616	6,622	△ 6
色麻町	2	3	△ 1	326	335	△ 9
加美町	5	9	△ 4	1,122	1,107	15
涌谷町	2	3	△ 1	798	832	△ 34
美里町	4	7	△ 3	1,083	1,129	△ 46
※自動車道路				26	23	3
※大崎圏域外				2	2	0
合計	44	49	△ 5	9,973	10,050	△ 77

（２）　出火原因

［令和7年中］
［単位：件］

原因	件数	割合
放火	6	13.6%
電気機器	5	11.4%
電気装置	4	9.1%
たばこ	3	6.8%
上記以外	26	59.1%
合計	44	100.0%

（３）　消防力の整備指針及び消防水利の基準と現有消防力

［令和8年4月1日現在］
［単位：署，台，人］

区分	基準	現有	充足率
署所の数	9	9	100.0%
ポンプ車	16	16	100.0%
梯子車	2	2	100.0%
化学車	1	1	100.0%
救助工作車	1	1	100.0%
救急車	11	11	100.0%
人員	402	322	80.1%

（４）　所属別人員及び車両配置概要

［令和8年4月1日現在］

所属名／項目	消防本部	古川消防署管内	鳴子消防署管内	加美消防署管内	遠田消防署管内	合計
人員	49人	119人	55人	56人	43人	322人
救急車		5台	2台	2台	2台	11台
ポンプ車		4台	2台	2台	1台	9台
化学車		1台				1台
水槽付ポンプ車		2台	2台	2台	1台	7台
梯子車		1台	1台			2台
救助工作車		1台				1台
大型水槽車		1台		1台	1台	3台
その他	9台	6台	7台	5台	4台	31台
合計	9台	21台	14台	12台	9台	65台

※その他車両は，司令車・指揮車・査察車・連絡車・搬送車・広報車等が含まれます。
※上記以外に、非常用ポンプ車を消防本部，遠田消防署へ，非常用救急車を消防本部，加美消防署へ配備しております。

（５）応急手当講習会等の実施状況

［令和7年1月1日～令和7年12月31日］
［単位：人］

種別	年齢／性別	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	合　計
普通救命講習会	男	376	89	97	168	152	97	36	1	1,016
	女	316	76	75	122	123	73	17	0	802
	合計	692	165	172	290	275	170	53	1	1,818
上級救命講習会	男	5	2	3	4	1	3	2	0	20
	女	14	6	4	4	7	0	0	0	35
	合計	19	8	7	8	8	3	2	0	55
普及員講習会	男	0	0	1	1	1	2	0	0	5
	女	1	0	0	2	0	0	1	0	4
	合計	1	0	1	3	1	2	1	0	9
救命入門コース	男	557	193	181	222	219	184	72	15	1,643
	女	549	276	350	391	349	232	126	16	2,289
	合計	1,106	469	531	613	568	416	198	31	3,932
総　合　計		1,818	642	711	914	852	591	254	32	5,814

（６）　民間防火組織等の結成状況

［令和8年4月1日現在］
［単位：団体，人］

組織区分／市町名	幼年消防クラブ		少年消防クラブ		女性防火クラブ	
	クラブ数	クラブ員数	クラブ数	クラブ員数	クラブ数	クラブ員数
大　崎　市	19	420	0	0	82	16,247
色　麻　町	1	33	0	0	25	1,767
加　美　町	5	105	0	0	65	2,241
涌　谷　町	3	36	1	62	46	3,434
美　里　町	1	32	0	0	9	7,808
合　計	29	626	1	62	227	31,497

生涯学習（大崎生涯学習センター　パレットふるしんホール）

（１）　貸出機材保有状況

［令和８年４月１日現在］
［単位；台］

機材名	数　量	機材名	数　量
１６ミリ映写機	4	スライド映写機	1
ロールアップ式スクリーン	2	ＯＨＰ	1
大型布製スクリーン	1	ビデオカメラ	1
三脚式スクリーン	4	三脚	2
組立式スクリーン	2	暗幕	1
パソコン対応ビデオプロジェクター	8	ＤＶＤプレイヤー	2

（２）　視聴覚教材保有状況

［令和８年４月１日現在］
［単位：本］

教材名	数　量	教材名	数　量
ビデオ教材	1,669	１６ミリ教材	566
スライド教材	19	BD・ＤＶＤ教材	1,120

（３）　大崎生涯学習センター利用状況

［単位：人］

区　分	令和７年度	令和６年度	比　較
多目的ホール(控室含む)	24,350	19,932	4,418
みんなの部屋	5,008	3,786	1,222
ふれあい広場	58	98	△ 40
研修室	6,741	5,340	1,401
伝統文化室	545	864	△ 319
視聴覚室	15,003	6,963	8,040
スタジオ	362	210	152
プラネタリウム館・屋上天文台	26,699	22,518	4,181
メディア研修室	701	199	502
教材開発室	5	5	0
ホワイエ	1,606	836	770
合　　計	81,078	60,751	20,327

※プラネタリウム館・屋上天文台には，学習投影・一般投影・星をみる会等を含みます。

歴代管理者等

［令和８年５月１日現在］

（１）　歴代管理者

職　名	氏　　名	在　職　期　間
古　川　市　長	森谷　菊治郎	S46. 8. 2～S47. 3.22
〃	三　上　　馨　一	S47. 3.23～S51. 3.22
〃	大　衡　　照　夫	S51. 3.23～S63. 3.22
〃	千　坂　　侃　雄	S63. 3.23～H 4. 3.22
〃	中　川　　俊　一	H 4. 3.23～H12. 3.22
〃	佐々木　謙次	H12. 3.24～H18. 3.30
大　崎　市　長	伊　藤　　康　志	H18. 5.13～R 8. 4.29
〃	中　島　　源　陽	R 8. 4.30～　現　　在

（２）　副管理者

職　名	氏　　名	在　職　期　間
副管理者　色麻町長	早　坂　　利　悦	H27. 8.28～　現　　在
副管理者　加美町長	石　山　　敬　貴	R 5. 8.28～　現　　在
副管理者　涌谷町長	遠　藤　　釈　雄	R 1. 5.26～　現　　在
副管理者　美里町長	相　澤　　清　一	H26. 2. 5～　現　　在
副管理者〔常勤〕	藤　島　　善　光	R 8. 4. 1～　現　　在

（３）　監査委員

区　　分	氏　　名	在　職　期　間
識見を有するもの	佐々木　富夫	R 2. 6. 5～　現　　在
議　会　選　出	伊　藤　　淳	R 7. 6. 2～　現　　在

（４）　教育委員会教育長及び教育委員

職　名	氏　　名	在　職　期　間
教　育　長	熊　野　　充　利	H30. 7. 9～現　　在
教育長職務代理者(加美町教育長)	鎌　田　　稔	R 8. 4. 1～現　　在
教育委員(色麻町教育委員)	浅　野　　奈　美	R 8. 4. 1～現　　在
教育委員(涌谷町教育委員)	戸　田　　康　子	H30.11.26～現　　在
教育委員(美里町教育委員)	大森　真智子	R 4. 4. 1～現　　在

議会議員

［令和８年５月１８日現在］

（１）　議会議員

職　名	氏　　名	在　職　期　間
議　長（大崎市議会議長）	佐 藤　　弘 樹	R8. 5.１８ ～ 現　　在
副議長（美里町議会議長）	鈴 木　　宏 通	R8. 2.１０ ～ 現　　在
議　員（大崎市議会議員）	結　城　　豊	R8. 5.１８ ～ 現　　在
議　員（大崎市議会議員）	法 華　　栄 喜	R8. 5.１８ ～ 現　　在
議　員（大崎市議会議員）	佐 藤　仁 一 郎	R8. 5.１８ ～ 現　　在
議　員（大崎市議会議員）	木 村　　和 彦	R8. 5.１８ ～ 現　　在
議　員（色麻町議会議長）	中　山　　哲	R8. 1.２３ ～ 現　　在
議員（色麻町議会副議長）	白 井　　幸 吉	R6. 2.　５ ～ 現　　在
議　員（加美町議会議長）	味 上　庄 一 郎	R7. 4.　４ ～ 現　　在
議　員（加美町議会議員）	三 浦　　又 英	R7. 4.　４ ～ 現　　在
議　員（加美町議会議員）	伊　藤　　淳	R7. 4.　４ ～ 現　　在
議　員（涌谷町議会議長）	大　泉　　治	R6. 1.　５ ～ 現　　在
議　員（涌谷町議会議員）	門 田　　善 則	R6. 1.　５ ～ 現　　在
議　員（美里町議会議員）	佐 野　　善 弘	R8. 2.１０ ～ 現　　在
議　員（美里町議会議員）	村 松　　秀 雄	R8. 2.１０ ～ 現　　在

（２）　議会運営委員会

職　名	氏　　名	在　職　期　間
委員長（大崎市議会議員）	佐 藤　仁 一 郎	R8. 5.１８ ～ 現　　在
副委員長（加美町議会議長）	味 上　庄 一 郎	R7. 4.　４ ～ 現　　在
委　員（色麻町議会議長）	中　山　　哲	R8. 1.２３ ～ 現　　在
委　員（涌谷町議会議長）	大　泉　　治	R6. 1.　５ ～ 現　　在
委　員（美里町議会議員）	村 松　　秀 雄	R8. 2.１０ ～ 現　　在

所属別配置状況

（１）　一般職（消防職以外）

［令和８年４月１日現在］

		事務局長	参事・技術参事	議会・監査委員事務局長・教育長・次長・課長・園長	技術副参事	事務局次長・技術専門監・課長補佐・センター長	主幹・技術主幹	係長	主生涯学習専門員・技術主査	主事・技師	合計	日勤者	交代勤務者
事務局	総務課			1		2		2	6	3	14	14	
	（人事交流による派遣）								(2)	(1)	(3)	(3)	
	ほなみ園			1				2	6	4	13	13	
	業務課			1		1	2		1	3	8	8	
	施設整備課			1	1		1		1	1	5	5	
	施設管理課 庶務係		1			1	1		2	3	8	8	
	施設管理課 東部クリーンセンター					1	4	1	4	6	16	4	12
	施設管理課 リサイクルセンター					1	2		1	3	7	7	
	施設管理課 中央桜ノ目衛生センター					1	1			3	5	5	
小計（人事交流による派遣を除く）		0	1	4	1	7	11	5	21	26	76	64	12
会計課				1				1			2	2	
教育委員会事務局（大崎生涯学習センター）				1		1	1	1	2	2	8	8	
議会事務局 監査委員事務局				1		1			1		3	3	
小計		0	0	3	0	2	1	2	3	2	13	13	0
合計		0	1	7	1	9	12	7	24	28	89	77	12
備考		１　派遣職員３名の内訳は，大崎市２名，環境省１名である。 ２　上記に会計年度任用職員は含まない。											

（２）　消防職

［令和８年４月１日現在］

		正監	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務吏員	計	毎日勤務	交代制勤務
消防本部	消　防　長	1									1	1	
	消防次長		1								1	1	
	総　務　課			3	1	3					7	7	
	（派遣）			1	2	5					8	8	
	予　防　課			2	1						3	3	
	警　防　課			3	1	1					5	5	
	（指揮隊）				3	3	3				9		9
	指　令　課			2	1						3	3	
	（通信指令センター）				3	6	3				12		12
小　計		1	1	11	12	18	6	0	0	0	49	28	21
古川消防署			1	1	9	14	18		16		59	12	47
志田分署				1	3	5	6	1	4		20	2	18
田尻分署				1	3	5	6		5		20	2	18
三本木出張所				1	3	5	6	1	4		20	2	18
小　計		0	1	4	18	29	36	2	29	0	119	18	101
鳴子消防署				2	7	8	9		9		35	5	30
岩出山分署				1	3	5	6		5		20	2	18
小　計		0	0	3	10	13	15	0	14	0	55	7	48
加美消防署				2	8	6	10		10		36	5	31
西部分署				1	2	6	6		5		20	2	18
小　計		0	0	3	10	12	16	0	15	0	56	7	49
遠田消防署				2	8	10	12		11		43	5	38
小　計		0	0	2	8	10	12	0	11	0	43	5	38
合　計		1	2	23	58	82	85	2	69	0	322	65	257
備　考		1 派遣職員８名の内訳は，総務省１名，宮城県消防学校２名， 宮城県2名，防災ヘリ１名，大崎市２名である。 （総務課7名） 2 新規採用職員５名 内訳は，古川・遠田各２名，加美１名である。											

大崎ＣＩ（Ｃｏｒｐｏｒａｔｅ　Ｉｄｅｎｔｉｔｙ）

（組合章・イメージキャラクター・マスコットキャラクター・キャッチフレーズ）

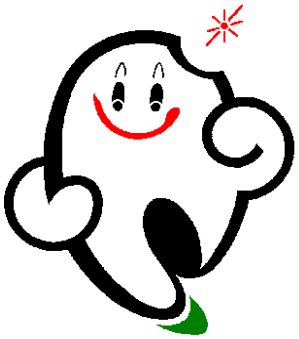
組合章



〈説明〉

大崎の頭文字「O」をモチーフに，大崎圏域１市４町の団結と輪（和）を力強くデザインした。円の中の顔のほほえみが大崎人のあたたかさ，大崎の飛躍を表しており，平成２７年度に組合章として定めました。

イメージキャラクター



「大崎夢っ子」

〈説明〉

大崎地域の代表的な産物お米をモチーフに，未来へ向かって活力に満ちた元気ある大崎地域を「O」で表現したものです。

頭のアンテナは，発信基地を目指す大崎広域圏をイメージしています。

マスコットキャラクター



「らいすくん」

〈説明〉

地域住民や子どもたちに対する防火思想の普及啓発を目的として誕生したキャラクターで，「大崎夢っ子」の消防バージョンです。

主に防災イベントや防火パレードなど，消防が年間を通して行っている様々な催しに登場し，火災予防を呼びかけます。

キャッチフレーズ

輝く大地
ひろがる笑顔の
大崎広域圏

〈説明〉

１市４町の持つ豊かな地域資源の輝く大地を活かし，将来に向けた可能性を最大限に追求するためには，一人ひとりの笑顔が結び合うことによって，大崎圏としてのひろがりが生まれ，地域に暮らす人々の安心と快適で生き甲斐のある生活を育むことが重要です。

よって，輝く大地とひろがる笑顔の結び合いにより，心豊かな幸せを実感することのできる地域社会としての「大崎広域圏」を目指していきます。